

平成25年三重県議会定例会 予算決算常任委員会

病院事業庁長補充説明

1	平成24年度収支(収益・資本)の状況	
(1)	三重県病院事業決算の概況	1
(2)	こころの医療センター及び 一志病院の決算状況	2
(3)	志摩病院の決算状況	3
(4)	患者数と診療単価	6
(5)	資本的収支	7
(6)	一般会計繰入金	8
2	過年度医業未収金対策について	10

平成25年10月1日

病院事業庁

1 平成24年度収支(収益・資本)の状況

(1) 三重県病院事業決算の概況

県立病院では、「県民の皆さんと地域の信頼を得る医療を迫及する」、「患者の皆さんの人権を尊重する医療を追求する」、「常に時代や環境を先取りし必要となるサービスを実践する」を基本理念とし、精神科医療や救急医療の充実、家庭医療の実践、へき地医療の支援、災害医療体制の整備など、地域のニーズに応じた良質で満足度の高い医療を提供するとともに、政策医療や不採算医療を担い、「県民から信頼され、支持される病院」をめざし病院運営を行っています。

平成24年度の病院事業は、県立病院改革を受け、こころの医療センター、一志病院、指定管理者制度を導入した志摩病院の3病院を運営したところです。

平成24年度病院事業決算は、収益については、総合医療センター及び志摩病院の運営形態の変更に伴って決算規模が縮小したことにより、経常収益は57億440万9,338円となり前年度に比べ68.4%減となりました。

費用についても、経常費用が58億317万1,804円となり、前年度に比べ69.6%減となりました。

また、経常損益についても、総合医療センター及び志摩病院の運営形態を変更したことから、収支は前年度に比べ9億5,899万7,622円改善し、9,876万2,466円の赤字となりました。なお、特別損失として退職給与引当金1億1,767万5,000円を計上した結果、純損益は、2億1,643万7,466円の赤字となりました。

これにより、累積欠損金は92億4,747万5,477円となっています。

【表1】病院事業庁の決算状況

	平成23年度決算	平成24年度決算	増減 H24-H23
(単位:円)			
①病院事業収益 A+B+C	21,209,844,775	5,704,409,338	▲ 15,505,435,437
医業収益 A	13,919,715,081	2,880,471,416	▲ 11,039,243,665
うち入院収益	9,991,298,210	2,266,305,111	▲ 7,724,993,099
うち外来収益	3,600,479,301	529,021,710	▲ 3,071,457,591
医業外収益 B	4,113,825,747	2,823,937,922	▲ 1,289,887,825
うち繰入金	3,915,842,000	2,528,159,000	▲ 1,387,683,000
ア 経常収益 A+B	18,033,540,828	5,704,409,338	▲ 12,329,131,490
特別利益 C	3,176,303,947	0	▲ 3,176,303,947
うち繰入金	383,694,000	0	▲ 383,694,000
②病院事業費用 D+E+F	24,156,853,732	5,920,846,804	▲ 18,236,006,928
医業費用 D	18,018,309,115	5,509,797,360	▲ 12,508,511,755
うち給与費	10,055,630,545	2,710,519,337	▲ 7,345,111,208
うち材料費	3,212,942,514	286,054,753	▲ 2,926,887,761
うち経費	3,209,064,093	1,836,544,537	▲ 1,372,519,556
うち減価償却費	1,226,588,653	659,633,919	▲ 566,954,734
うち資産減耗費	255,716,807	6,172,267	▲ 249,544,540
医業外費用 E	1,072,991,801	293,374,444	▲ 779,617,357
イ 経常費用 D+E	19,091,300,916	5,803,171,804	▲ 13,288,129,112
特別損失 F	5,065,552,816	117,675,000	▲ 4,947,877,816
経常損益 アーイ	▲ 1,057,760,088	▲ 98,762,466	958,997,622
純損益 ①-②	▲ 2,947,008,957	▲ 216,437,466	2,730,571,491

【参考】累積欠損金の推移

	平成23年度決算	平成24年度決算
純損益	▲ 2,947,008,957	▲ 216,437,466
累積欠損金	▲ 9,255,045,952	▲ 9,247,475,477

(2) こころの医療センター及び一志病院の決算状況

県直営病院であるこころの医療センター及び一志病院の収益については、入院患者数の減に伴う入院収益の減等により医業収益が減少した結果、経常収益は、41億1,148万981円となり、前年度と比べ3.8%の減となりました。

一方、費用については、こころの医療センターにおけるデイケア等の外来診療機能の充実のための職員の増員に伴う給与費の増加及び光熱水費や修繕費の増に伴う経費が増加、一志病院における訪問看護の充実等の家庭医療の実践のための職員の増員に伴う給与費が増加したこと等により、医業費用が増加した結果、経常費用は40億6,018万9,338円となり、前年度と比べ1.8%の増加となりました。

その結果、2病院の経常損益は5,129万1,643円となり、経常黒字を維持することができました。

【表2】2病院（こころの医療センター及び一志病院）合計の決算状況

(単位：円)

	平成23年度決算	平成24年度決算	増減 H24-H23
①病院事業収益 A+B+C	4,275,430,964	4,111,480,981	▲ 163,949,983
医業収益 A	2,998,588,155	2,871,821,273	▲ 126,766,882
うち入院収益	2,368,394,724	2,266,305,111	▲ 102,089,613
うち外来収益	554,060,465	529,021,710	▲ 25,038,755
医業外収益 B	1,276,842,809	1,239,659,708	▲ 37,183,101
うち繰入金	1,230,387,000	1,207,002,000	▲ 23,385,000
ア 経常収益 A+B	4,275,430,964	4,111,480,981	▲ 163,949,983
特別利益 C	0	0	0
うち繰入金	0	0	0
②病院事業費用 D+E+F	6,900,271,388	4,177,864,338	▲ 2,722,407,050
医業費用 D	3,812,831,857	3,888,165,775	75,333,918
うち給与費	2,468,470,230	2,547,865,680	79,395,450
うち材料費	300,825,343	286,054,753	▲ 14,770,590
うち経費	674,378,934	712,522,760	38,143,826
うち減価償却費	341,846,037	326,435,979	▲ 15,410,058
うち資産減耗費	18,306,967	5,374,947	▲ 12,932,020
医業外費用 E	177,154,584	172,023,563	▲ 5,131,021
イ 経常費用 D+E	3,989,986,441	4,060,189,338	70,202,897
特別損失 F	2,910,284,947	117,675,000	▲ 2,792,609,947
経常損益 アーイ	285,444,523	51,291,643	▲ 234,152,880
純損益 ①-②	▲ 2,624,840,424	▲ 66,383,357	2,558,457,067

(3) 志摩病院の決算状況

志摩病院については、運営形態の変更に伴い、収益面では主に指定管理者への交付金等の財源となる一般会計からの繰入金等、費用面では指定管理者への交付金や建物・医療機器にかかる減価償却費等を計上しています。

この結果、県決算としての純損益は1億5,005万4,109円の赤字となりました。

【表3】志摩病院の決算状況（県決算額）

(単位：円)

	平成24年度決算
①病院事業収益 A+B+C	1,419,081,044
医業収益 A	8,650,143
うち入院収益	0
うち外来収益	0
医業外収益 B	1,410,430,901
うち繰入金	1,154,451,000
ア 経常収益 A+B	1,419,081,044
特別利益 C	0
うち繰入金	0
②病院事業費用 D+E+F	1,569,135,153
医業費用 D	1,449,041,839
うち給与費	0
うち材料費	0
うち経費	1,116,143,462
うち減価償却費	332,101,057
うち資産減耗費	797,320
医業外費用 E	120,093,314
イ 経常費用 D+E	1,569,135,153
特別損失 F	0
経常損益 アーイ	▲ 150,054,109
純損益 ①-②	▲ 150,054,109

なお、志摩病院の経営状況における決算の前年度との比較については、運営主体が異なるとともに執行科目等が相違するため、正確に比較することは難しいですが、参考までに県の損益計算書と指定管理者から提出された事業報告書との合計額を前年度と比較すると、経常収支が大幅に改善しています。

その要因は、延入院患者数の増加及び平均在院日数の短縮に伴う診療単価のアップにより入院収益が増加したことや、支出については、運営形態変更により退職給与金や法定福利費等が減となったことに伴い給与費が減少したことや修繕費等の減に伴い経費が減少したことによるものです。

【参考】 志摩病院決算額 (対前年度比較：主な項目のみ) (単位：百万円)

主な項目		平成23年度 (A)	平成24年度 (B)	増減 (B) - (A)
収入	入院収益	1,712	1,923	211
	外来収益	822	794	▲ 29
	負担金等	736	613	▲ 123
支出	給与費	2,390	2,110	▲ 280
	経費	1,163	913	▲ 249
経常収支		▲ 1,224	▲ 715	509
特別利益		516	0	▲ 516
特別損失		1,621	0	▲ 1,621
総収支		▲ 2,329	▲ 715	1,614

(注)

1 平成24年度の決算額については、県決算額と指定管理者決算額の合計額(参考値)です。なお、県と指定管理者とのやりとりで二重計上となる収益・費用は除いています。

2 平成24年度決算額では、県から指定管理者への赤字補てんである経営基盤強化交付金(541百万円)は含めずに比較しています。

平成24年度病院別決算状況は以下のとおりです。

【表4】平成24年度病院別決算状況（収益的収支）

（単位：百万円）

	総合医療 センター	こころの医療 センター	一志病院	志摩病院	県立病院課	合計
①病院事業収益 A+B+C	0	3,314	798	1,419	174	5,704
医業収益 A	0	2,387	485	9	0	2,880
うち入院収益	0	2,000	266	0	0	2,266
うち外来収益	0	360	169	0	0	529
医業外収益 B	0	927	313	1,410	174	2,824
うち繰入金	0	897	310	1,154	167	2,528
ア 経常収益 A+B	0	3,314	798	1,419	174	5,704
特別利益 C	0	0	0	0	0	0
うち繰入金	0	0	0	0	0	0
②病院事業費用 D+E+F	0	3,292	885	1,569	174	5,921
医業費用 D	0	3,034	854	1,449	173	5,510
うち給与費	0	2,014	534	0	163	2,711
うち材料費	0	205	81	0	0	286
うち経費	0	531	182	1,116	8	1,837
うち減価償却費	0	276	50	332	1	660
うち資産減耗費	0	1	5	1	0	6
医業外費用 E	0	154	18	120	1	293
イ 経常費用 D+E	0	3,188	872	1,569	174	5,803
特別損失 F	0	104	13	0	0	118
経常損益 アーイ	0	126	▲ 74	▲ 150	0	▲ 99
純損益 ①--②	0	21	▲ 88	▲ 150	0	▲ 216

*百万円未満四捨五入のため、合計や差額が合わない場合があります。

(4) 患者数と診療単価

患者数については、入院患者数が延べ203,024人(1日平均556人)、外来患者数が延べ154,556人(1日平均631人)となり、前年度と比べて入院患者数は111,307人の減少、外来患者数は133,904人の減少となりました。

患者数減少の主な要因は、総合医療センターの地方独立行政法人への移行に伴うものです。

診療単価については、一志病院において平均在院日数の短縮や平成24年度より新たな施設基準を取得したこと等により入院診療単価が1,431円増加しました。

なお、志摩病院においても、平均在院日数の短縮に伴い入院診療単価が2,479円増加しました。

【表5】患者数の状況

(単位:人)

	入院患者数 (年度延べ)				外来患者数 (年度延べ)			
	H23	H24	増減	比率	H23	H24	増減	比率
総合医療センター	107,640	-	▲ 107,640	-	129,328	-	▲ 129,328	-
こころの医療センター	120,149	117,553	▲ 2,596	97.8%	62,765	62,874	109	100.2%
一志病院	12,038	9,936	▲ 2,102	82.5%	22,343	22,152	▲ 191	99.1%
志摩病院	74,504	75,535	1,031	101.4%	74,024	69,530	▲ 4,494	93.9%
合計	314,331	203,024	▲ 111,307	64.6%	288,460	154,556	▲ 133,904	53.6%

【表6】診療単価の状況

(単位:円)

	診療単価 (入院)				診療単価 (外来)			
	H23	H24	増減	比率	H23	H24	増減	比率
総合医療センター	54,915	-	▲ 54,915	-	17,200	-	▲ 17,200	-
こころの医療センター	17,172	17,015	▲ 157	99.1%	5,807	5,732	▲ 75	98.7%
一志病院	25,354	26,785	1,431	105.6%	8,485	7,614	▲ 871	89.7%
志摩病院	22,976	25,455	2,479	110.8%	11,104	11,415	311	102.8%

(5) 資本的収支

収入については、企業債及び県費負担金等で、13億3,614万9,500円を受け入れました。

また、支出については、病院の増改築及び資産購入、企業債の償還金等に充てるため、15億8,065万9,389円を支出しました。その主な内容は、こころの医療センターの外来棟整備の設計委託や、一志病院の空調自動制御機器の更新工事、志摩病院における調剤機器の更新等であり、建設改良費として総額1億972万1,892円を執行しました。

なお、収入と支出との差額2億4,450万9,889円については、内部留保資金により充当しました。

【表7】 資本的収入及び支出

(単位：円)

	H 2 3 年度決算	H 2 4 年度決算	増減 H 2 4-H 2 3
①資本的収入	1,908,855,000	1,336,149,500	▲ 572,705,500
うち企業債	818,200,000	83,100,000	▲ 735,100,000
うち県費負担金	985,589,000	751,657,000	▲ 233,932,000
②資本的支出	4,932,064,879	1,580,659,389	▲ 3,351,405,490
うち建設改良費	865,750,029	109,721,892	▲ 756,028,137
うち企業債償還金	4,041,714,850	1,101,737,497	▲ 2,939,977,353
資本的収支 ①-②	▲ 3,023,209,879	▲ 244,509,889	2,778,699,990

【表8】 平成24年度病院別決算状況（資本的収支）

(単位：百万円)

	総合医療 センター	こころの医療 センター	一志病院	志摩病院	県立病院課	合計
①資本的収入	0	210	86	889	151	1,336
うち企業債	0	5	18	60	0	83
うち県費負担金	0	204	68	479	0	752
②資本的支出	0	354	104	1,103	19	1,581
うち建設改良費	0	19	22	69	0	110
うち企業債償還金	0	335	82	685	0	1,102
資本的収支 ①-②	0	▲ 144	▲ 19	▲ 214	132	▲ 245

* 百万円未満四捨五入のため、合計や差額が合わない場合があります。

(6) 一般会計繰入金

高度医療や不採算医療など経営収入をもって充てることが適切でない経費等については、経営収支の状況にかかわらず、国の示す基準に基づいて必要な費用を一般会計から繰り出すことができます。

本県の繰入金については、県立病院の役割・機能を果たすための経費として、客観的な積算基準を定め、その基準に従い繰り入れられています。

平成24年度の一般会計からの繰入金は、約32億8,000万円ですが、このうち志摩病院の11億400万円については、指定管理者への交付金の財源となっています。また、平成23年度の繰入金約52億8,500万円と比較し、20億500万円の減となっています。その主な要因は、総合医療センターの地方独立行政法人への移行に伴うものです。

【表9】一般会計繰入金の内訳

(単位:百万円)

繰入項目	こころの医療センター	一志病院	志摩病院	県立病院課	合計
項目1 人材育成に要する経費	61	20	0	0	80
項目2 救急医療の確保に要する経費	86	39	0	0	126
項目3 保健衛生行政事務に要する経費	18	6	1,104	129	1,257
災害拠点病院に要する経費	5	0	0	0	5
感染症対策に要する経費	0	0	0	0	0
院内保育所運営に要する経費	11	0	0	0	11
老人痴呆疾患センター運営に要する経費	2	0	0	0	2
医療行政に要する経費	0	3	1,104	129	1,235
へき地医療に要する経費	0	0	0	0	0
集団検診、医療相談等に要する経費	0	4	0	0	4
項目4 経営基盤強化対策に要する経費	75	219	0	10	304
不採算地区に立地することにより要する経費	0	200	0	0	200
医師及び看護師等の研究研修に要する経費	2	1	0	1	3
共済組合追加費用の負担に要する経費	73	18	0	10	101
項目5 高度医療に要する経費	0	0	0	0	0
項目6 特殊医療に要する経費	17	11	0	0	28
小児・周産期医療に要する経費	0	0	0	0	0
リハビリテーションに要する経費	0	0	0	0	0
生活指導、訪問指導に要する経費	0	11	0	0	11
アルコール依存症医療に要する経費	17	0	0	0	17
認知症医療に要する経費	0	0	0	0	0
項目7 建設改良に要する経費(企業債利息支払)	56	3	50	0	109
項目8 精神病院運営割高経費	536	0	0	0	536
項目9 公的基礎年金拠出金に要する経費	49	11	0	5	65
項目10 児童手当に要する経費	0	0	0	23	23
収益的収入 合計	897	310	1,154	167	2,528
項目11 建設改良に要する経費	204	68	479	0	752
建設改良費(施設整備費、医療機器購入費)	0	14	1	0	16
企業債償還金(起債元金支払)	204	53	478	0	736
資本的収入 合計	204	68	479	0	752
合計	1,102	378	1,634	167	3,280

*百万円未満四捨五入のため、合計や差額が合わない場合があります。

【参考】

	こころの医療センター	一志病院	志摩病院	県立病院課	総合医療センター	合計
平成23年度一般会計繰入額	1,134	348	1,318	357	2,128	5,285

※予算との対比のため、税込み決算額を使用しています。

【参考】収益的収入及び支出の予算対比

(単位：百万円)

	H23 決算	H24			増減 H24-H23	備 考
		最終補正 予算	決算	決算- 最終補正予算		
①病院事業収益 A+B+C	21,230	5,724	5,709	▲ 14	▲ 15,521	
医業収益 A	13,937	2,898	2,884	▲ 14	▲ 11,052	
うち入院収益	9,992	2,273	2,266	▲ 6	▲ 7,725	
うち外来収益	3,602	540	529	▲ 11	▲ 3,073	
医業外収益 B	4,117	2,825	2,825	0	▲ 1,292	
うち繰入金	3,916	2,531	2,528	▲ 3	▲ 1,388	
特別利益 C	3,176	0	0	0	▲ 3,176	
うち繰入金	384	0	0	0	▲ 384	
②病院事業費用 D+E+F	24,174	5,996	5,925	▲ 71	▲ 18,249	
医業費用 D	18,253	5,620	5,553	▲ 67	▲ 12,700	
うち給与費	10,060	2,727	2,713	▲ 15	▲ 7,347	
うち材料費	3,294	309	293	▲ 16	▲ 3,001	
うち経費	3,355	1,890	1,870	▲ 20	▲ 1,485	
うち減価償却費	1,227	660	660	0	▲ 567	
うち資産減耗費	256	20	6	▲ 13	▲ 250	
医業外費用 E	856	258	255	▲ 3	▲ 601	
特別損失 F	5,066	118	118	0	▲ 4,948	
経常損益 (A+B) - (D+E)	▲ 1,055	▲ 155	▲ 98	57	956	
純損益 ① - ②	▲ 2,944	▲ 273	▲ 216	57	2,728	

*百万円未満四捨五入のため、合計や差額が合わない場合があります。

【参考】資本的収入及び支出の予算対比

百万円)

	H23 決算	H24			増減 H24-H23	備 考
		最終補正 予算	決算	決算- 最終補正予算		
③資本的収入	1,909	1,355	1,336	▲ 18	▲ 573	
うち企業債	818	97	83	▲ 13	▲ 735	
うち県費負担金	986	757	752	▲ 5	▲ 234	
④資本的支出	4,932	1,602	1,581	▲ 21	▲ 3,351	
うち建設改良費	866	131	110	▲ 21	▲ 756	
うち企業債償還金	4,042	1,102	1,102	0	▲ 2,940	
資本的収支 ③-④	▲ 3,023	▲ 247	▲ 245	2	2,779	

*百万円未満四捨五入のため、合計や差額が合わない場合があります。

2 過年度医業未収金対策について

(1) 過年度医業未収金の状況

患者自己負担に係る過年度医業未収金については、平成25年 3月31日現在で、3病院あわせて4,384万9,352円となっており、前年度に比べて611万232円減少しました。(対前年度比87.8%)

なお、平成24年度に回収した過年度医業未収金の金額は、1,064万6,901円となっています。

過年度医業未収金の推移

(単位：円、件)

項目	23年度	24年度	前年度増減
期首 残高	60,888,947	49,959,584	▲ 10,929,363
当年度 発生高	10,401,838	11,380,814	978,976
当年度 減少高	21,331,201	17,491,046	▲ 3,840,155
回収	10,917,650	10,646,901	▲ 270,749
会計上の減額処理等	10,413,551	6,844,145	▲ 3,569,406
期末 残高	49,959,584	43,849,352	▲ 6,110,232
期末 件数	265	320	55

※平成23年度の総合医療センターについては、平成24年度の独立行政法人化により法人へ未収金が承継されたことから除いています。

(2) 過年度医業未収金対策

発生防止と発生後の早期回収に最大限注力するとともに、過年度未収金となった場合についても、さまざまな対策を講じて回収に努めています。

また、情報交換や未収金対策の学習の場として事務担当者会議を定期的開催する等、未収金担当職員の資質向上にも努めています。

① 発生防止対策

- ア 入院時に、入院費用や高額療養費制度に係る説明資料を患者等に配布し、入院費用に関する早期の相談を呼びかけます。
- イ 病院内の各部門が連携し、患者の状況に応じて利用可能な公費負担制度等の説明やその申請をサポートします。
- ウ 入院病棟職員と会計職員との連携を促進する等、病院内の情報共有を図ります。

② 回収対策

- ア 保証人を含めた督促の強化
保証人を含め、文書及び電話による継続的な督促を行います。
- イ 法的措置
理由無く支払が無い場合は、法的措置を実施しています。
なお、平成24年度の法的措置件数は、32件となっています。
- ウ 弁護士事務所への回収業務委託
法的措置を実施しても回収できない債権について、平成19年度からは弁護士事務所へ管理回収業務を委託しています。
なお、平成24年度の弁護士事務所への回収業務委託件数は、60件となっています。

【参考】病院別過年度未収金の状況

(単位：千円、件)

		こころの医療 センター	一志病院	志摩病院	事業庁合計	割合
定期分納中	金額	11,924	219	11,111	23,254	53.0%
	件数	61	6	73	140	43.8%
不定期分納等回収に時 間を要するもの	金額	14,966	202	5,427	20,595	47.0%
	件数	111	6	63	180	56.3%
合 計	金額	26,890	421	16,538	43,849	100.0%
	件数	172	12	136	320	100.0%

※四捨五入のため、合計が合わない場合があります。